

パレット -Palette-

NO.46

ご自由に
お持ち帰りください

Hygge Yamamoto



黄色は太陽を、
水色は空を、
緑はかぶと山を、
ベージュは大地を、
ピンクは人々の
安らいだ心を
表しています。

CONTENTS

- ・院長先生あいさつ ～地域づくり元年～
- ・特集 ～ヒュッゲやまもとのご紹介～
- ・トピック ～院内研究発表 新入職員研修～
- ・季節のレシピ



フェイスブック随時更新中！

理念

- 必要不可欠
「地域と生きる」「地域を生かす」地域において必要不可欠な存在であること。
「あると便利」ではなく「ないと困る」組織作りを目指します。

基本方針

- 全人的医療の提供に努めます。
説明と同意のもとに、個々の皆様の病状や人生観に合わせた尊厳ある医療を目指します。
- 医療の選択性の確保と総合支援
皆様をご希望される医療機関等へのご紹介や、介護福祉関連サービスが継続して受けられるよう支援いたします。
- 地域ネットワーク
地域における医療・介護・福祉の連携活動、交通事故重度障害者の支援事業、福岡県の介護予防事業、久留米市の包括支援事業などに対して、積極的に参加し支援していきます。
- 自己研鑽
チーム医療を駆使した最新医療を提供するため日々自己研鑽に努めます。

Hygge 構想について

日本の現状と課題

我が国は、未曾有の少子高齢化を迎え、今後 50 年間、この流れが変わることはありません。日本経済は、高度成長期を経て成熟期に入りました。国の負債は増え続けており、消費税増税、社会保障費の削減が検討されています。多くの社会学者が我が国の現行の年金制度や医療・介護システムは今のままでは持たない。人材不足と財政難はこれからも解決される見通しは少ない。このままでは、大規模な介護施設やサービス高齢者住宅での高齢者介護モデルシステムは、かならず崩壊すると指摘しています。一方では、人口減少への対策として、国が推奨するコンパクトシティー構想が各地で展開されているようですが、高齢化を伴う人口減少地域では、近い将来、システム疲労により“まち”そのものを脆弱化させてしまう恐れを孕んでいます。



課題解決に向けて

それではどのようにしたら良いのか。それは、300~3000 人規模の生活圏域において、多様性と共生を基本とした循環型社会をつくることだと言われています。「循環の経済」は、「小規模」「分散」「複合化」「近隣循環」を基本とします。すこし難しい表現になりましたが、人口が確実に減るわけですから、要は、住み慣れた地域で自律した生活を続けていくために、老若男女、障害ある人も、お互いが助け合っていきましょうということです。それでも健康に不安を抱えていては何もできません。そのために病院が中心となって皆さんの健康管理のお手伝いをさせていただくこととなります。

当院の取り組み

Hygge Yamamoto（ヒュッグ・やまもと）は、2019 年度国土交通省スマートウェルネス事業に沿った、病院を中心としたまちづくりです。Hygge（ヒュッグ）とは、デンマーク語で「人と人とのふれあいから生まれる、温かな居心地の良い雰囲気」という意味です。子供のために、孫のために、みんなのために、そして、自分のためにまちづくりに参加しませんか？

また、定期的に行っている地域講演会では、毎回、Hygge Yamamoto（ヒュッグ・やまもと）に関する情報提供を行っていきたいと考えています。5月~6月にかけて拠点となる施設の内覧会、開所式を計画しています。ご案内の際には是非お立ち寄り下さい。

施設の紹介

Hygge やまもとの
各施設を紹介！！

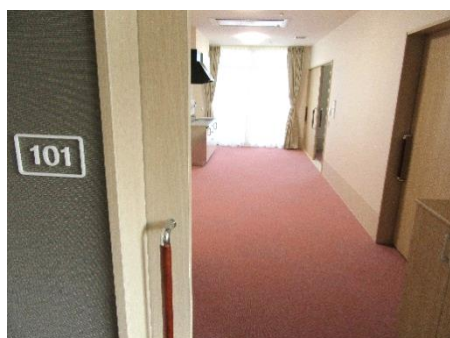
Hygge やまもと は2つの棟があり、それぞれ少しだけ離れた場所にあります。
まずはそれぞれの施設の役割を紹介します。

①生活・交流支援棟

◆リハビリテーションシェア House 「グレイヘロン」



社会(参加)復帰の為に総合的多機能なリハビリテーション性を持つ通常アパートメント住宅です。
グレイヘロンとは、不死の意味を持つ鳥といわれ、和名は青サギと呼ばれます。院長先生が、お気に入り入りで、英語名で命名されました。



久留米リハビリテーション病院が寄り添い支援する、**短期契約型の共生住宅**です。居室は全7室、終の棲家ではなく、利用期間などを決めて契約することになります。



◆地域交流カフェ 「ランズビイン カフェ」



かなりおしゃれな
ロゴですね！



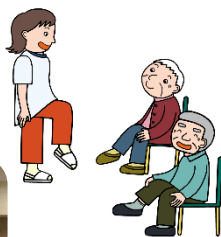
ランズビインとはデンマーク語で「村人」を意味しています。
地域交流を目的とし、病院関係者や利用者・家族だけでなく、地域の方々との交流や触れ合いを目的としたカフェです。やまもとの町づくりを推進する**地域交流の拠点**となることが期待されます。



②就労・元気支援棟

2つのさんかく屋根
が目印だよ！！

◆元気デイ「R」(アール)



介護保険の要支援、事業対象となる方が利用できる通所サービスです。

生活の自立や社会参加の獲得などを目標に短時間（2時間）のリハビリテーションを行っていきます。

◆地域活動「オリーブ」

介護予防、社会参加、就労支援という目的のもと、だれでも無料で参加できる活動です。農家などから委託された作業や創作活動を行っています。



◆就労継続支援B型「Symbi」(シンビー)



Symbiは「共生」を意味する、Symbiosisの略語です。障害者総合支援法のもと、障害があっても働きたいという方が作業を行う場所です。



◆託児所「Pixy(ピクシー)の森」



「妖精」という意味を持つPixyの森に名前が変わりました。職員が安心して働くことができるように、今回新しく整備されています。木の香りにあふれ、子供たちがのびのびと過ごせる場所となりました。

院内研究発表会

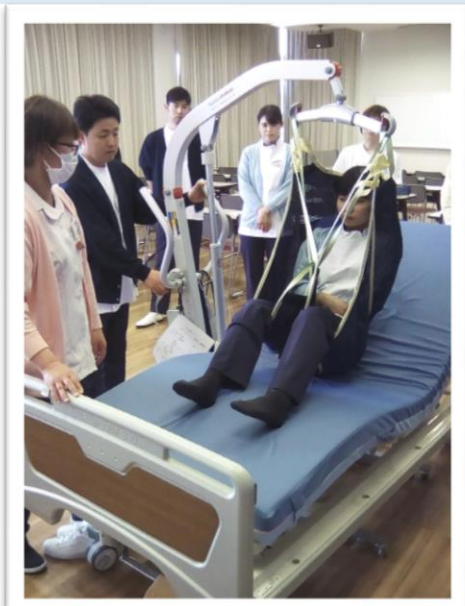
第1席	長下肢装具や天井走行式リフトを用いた歩行訓練により屋内実用歩行を獲得し復学した第10胸髄脊髄梗塞不全麻痺者	リハセンター
第2席	一般病棟における転倒・転落防止の取り組み ～転倒・転落アセスメントシート活用方法の再検討～	一般病棟
第3席	集団起立訓練の導入効果の検討	回復期リハ病棟
第4席	機能的電気刺激と運動療法により歩容と歩行能力の改善がみられた脳卒中片麻痺患者の一例	リハセンター
第5席	病的骨突出への効果的な除圧方法についての考察	療養病棟
第6席	短下肢装具の底屈制動力に関する客観的評価方法開発の試み	リハセンター



去る3月14日に院内研究発表会が開催されました。リハビリスタッフ、各病棟も含め計6席の発表が行われました。第4席の発表は昨年、福岡県理学療法士学会において奨励賞を受賞致しました。

新たな年号、令和となる本年度も13名の職員が入職致しました。辞令交付や新人研修も終わり、新しい体制でのスタートです。今後、各部署でお目にかかります。宜しくお願い申し上げます。

新入職員研修



外来診察のご案内

	月	火	水	木	金	土	日祝
午前	一般内科	院長	一般内科	院長	一般内科	一般内科	休診
	整形外科	内分泌	泌尿器	消化器	整形外科		
					膠原病 ※第1週		
午後	循環器	急患及び紹介の場合は午後でも診察は 行っています。				休診	休診
	皮膚科 ※14時～						

※**青字** は予約制ですのでご注意ください。※外来リハビリテーションは午後も行っております。(予約制)
※ご不明な場合はいつでもお問い合わせください。

キリトリ

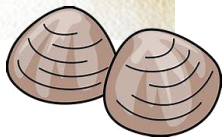
★ たけのご飯 ★ ～季節のレシピ～

材料(3人分)

米 2合
たけのこ(水煮) 100g
菜の花 8本程度
あさり(缶詰) 55g
昆布 5cm程度1枚
酒 大さじ2
薄口醤油 大さじ2

作り方

- 1、お米を2合目の目盛りまで水をいれそこから120cc引く
- 2、缶詰の汁と酒、薄口醤油で120ccのだしを作りお米に混ぜる
- 3、たけのこを食べやすい大きさにカットしあさりと一緒に炊飯器へ
- 4、菜の花は彩りよくゆで食べやすい大きさにカットし炊きあがったご飯にトッピングして完成



たけのこには食物繊維やカリウムをたくさん含んでいます。また、グルタミン酸やアスパラギン酸などのアミノ酸も豊富なので疲労回復にお勧めです。菜の花に含まれるβカロテンは美肌効果や免疫機能を正常に保つのに必要な栄養素です。そして、あさりには貧血対策に摂りたい鉄分が55gあたり約18.9mgと豊富に含まれています。

医療法人かぶとやま会
久留米リハビリテーション病院

〒839-0827

久留米市山本町豊田 1887

TEL: 0942-43-8033 FAX: 0942-45-0388

HP: <http://www.kurume-reha.or.jp>

e-mail: k-reha@kurume.ktarn.or.jp



< 編集後記 >

5月からは新元号「令和」に変わります。皆さんにとって平成はどのような年だったでしょうか？ 令和になることで大きな災害がなく、平和に過ごせるようお願いしたいものです。